

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和3年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
門川町	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から、広域化やPFI化等の抜本的な改革の検討に至らない状況である。平成30年10月に「門川町水道事業経営戦略」を策定し、それに基づいて令和元年7月に水道料金を平均改定率約20%の値上げを実施した。また、国の交付金事業や有利な起債制度を利用し、管路耐震化等の財源に充てながら、現在のところ健全な事業運営が実施できている。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和3年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
門川町	簡易水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 現行の経営体制を継続 ● </div>
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から、抜本的な改革の検討に至らない状況である。令和2年10月に「門川町簡易水道事業経営戦略」を策定している。水道料金については、上水道と同一料金設定となっており、令和元年7月の料金改定に伴い平均改定率約20%の値上げを行った。収支不足額については一般会計からの繰り入れを受けているが、必要最低限の繰入額とし簡易水道事業の経営健全化を図っているところである。また、令和5年度末までに公営企業会計への移行を予定している。